

Rotary
District 2680



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014-2015



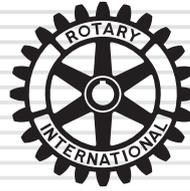
GOVERNOR Koji Takizawa

NOV. 2014
vol.5



Rotary

District 2680



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。



| | |
|--|----|
| ガバナーズレター..... | 1 |
| 義援金（広島地方・丹波地方）のご協力ありがとうございました..... | 2 |
| 2016-17年度RI会長及び2016-17年度RID2680ガバナーノミニーのご紹介..... | 3 |
| 対談シリーズ「ガバナーと話そう」..... | 4 |
| コーディネーターニュース/Rotary Breeze..... | 6 |
| 次期ガバナー補佐のご紹介/地区活動予定..... | 7 |
| 公式訪問だより..... | 8 |
| 柏原RAC認証状伝達式/アクトの日/米山カウンセラーミーティング..... | 10 |
| 職業奉仕神戸地域セミナー/増強・拡大/研修合同セミナー..... | 11 |
| 地区委員会報告..... | 12 |
| 地区大会のお知らせ..... | 15 |
| ご入会おめでとうございます/文庫通信/訃報..... | 16 |
| ご協力に感謝します/ガバナー事務所からのお知らせ..... | 17 |
| 出席報告 | |

❖今月の表紙

「雲海に浮かぶ竹田城跡」

撮影者 吉田利栄（よしだ としひさ）

標高約354メートルの山頂に位置する全国屈指の山城遺構です。「天空の城」、「日本のマチュピチュ」と呼ばれています。雲海のシーズンは晩秋から初冬にかけて、幻想的な風景が目前に迫ります。和田山RCでは地区補助金を活用し、来場者のマナー向上を目指してDVDを作成し啓発に努めています。



ロータリークラブの会長と幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 滝澤 功治 (神戸須磨)

秋が深まりました。季節は足早に移ろい、街は既に冬の予感の中にありますが、いかがお過ごしでしょうか。

11月はロータリー財団月間、そして11月5日を含む週は世界インターアクト週間です。

ロータリー財団の役割を考える

26ドル50セント…この数字を聞いてすぐにその意味がわかる方がどれ位いらっしゃるでしょうか。1916-17年度の国際ロータリークラブ連合会（国際ロータリーの前身）の会長であったアーチ C. クランフは、1917年、アトランタで開催された国際大会で「ロータリー基金」の設立を提案しました。このとき最初の基金に組み入れられたのが26ドル50セントです。それは参加したクラブが会長に記念品を贈ろうと集めたお金から記念品代を差し引いた残りの金額だったそうです。そういう蒔蓄はともかくとして、このときアーチ C. クランフは「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で、慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と呼びかけたそうです。ロータリーが奉仕活動をするのに、国際ロータリー自身ではなく、別途基金を設けて資金を集めるという発想にも、最初の組入れ額が意外に少額であることにも、何やらアメリカ式の合理性を感じてなんとなく納得した気分になります。

ロータリー基金はその後ロータリー財団となりました。ロータリー財団の現在の定款には、財団は慈善的かつ教育的目的または法人会員が承認した目的と目標のためにのみ組織されると規定され、目的として博愛、慈善、教育という言葉が例示されていますが、同時にこれらに限定されるものではない、とも記載されています。ロータリー財団の法人会員とは国際ロータリー自身ですから、結局のところ目的の幅は広いけれども、例示されている博愛、慈善、教育が中心であることは確かなようで、これらは言い換えれば人道的奉仕の分野ということになるでしょう。前年度から当地区でも「未来の夢計画」が実施されましたが、そこで定められている「6つの重点分野」はいずれも人道的奉仕の分野です。ロータリーの「戦略計画」において3つの

優先項目の一つとして「人道的奉仕の重点化と増加」があげられていることと考え合わせれば、現在の国際ロータリーが、そしてロータリー財団が、人道的奉仕に最も重点、重心を置いていることは明らかだと思います。

ところで、ロータリー財団について考えるとき、寄付を集めるという側面と、その資金をどのように使うかという側面の両面から考える必要があります。

寄付という行為についていえば、寄付は任意になされるからこそ、そして対価を求めないからこそ、尊いものだと思います。事実上強制されるようにして行われる寄付は、かえって心を貧しくしてしまうのではないのでしょうか。しかし、他方で、先ほどの人道的奉仕を行うには少なからぬ資金が必要なことも事実です。結局のところ、私たちは、掲げられた目的、目標の崇高さを理解した上で、自分の考えに折り合いを付け、納得のいく範囲で自ら寄付をし、周囲にも呼びかけるということが必要だと思います。

次に、ロータリー財団に集められた資金はどのように使われるのでしょうか。年次寄付は3年間、ロータリー財団で運用し、その投資利益が財団の管理運営の費用に充てられます。この投資結果及び資金管理の内容はRI日本事務局から毎月配信される「財団室ニュース」（地区のホームページからも見ることができます）の「リソース」の中にアップされています。是非見てください。そして私たちが寄付した年次寄付の半分が3年後に「地区財団活動資金（DDF）」として地区に戻され、それを各クラブに活動資金として配分するのが「地区補助金」です。残りの半分は「グローバル補助金」として全世界で展開される人道的奉仕活動の資金に供されます。つまり「地区補助金」とは、財団から「補助」してもらって恩恵的なものではなく、私たち自身が寄付した資金を使用するものです。

皆様のクラブで地域社会のニーズをくみ取り、新しいプロジェクトに挑戦してください。その挑戦にヒントや手がかりを提供するため、11月には3か所で奉仕活動合同セミナーを開催します。クラブに地区補助金プロジェクトに挑戦する「意欲をかきたてる」内容のセミナーにするように各委員会にお願いしています。皆様がこのセミナーに参加され、クラブの活性化の第一歩にされるように期待しています。

インターアクトを支援しよう

11月5日を含む週は世界インターアクト週間です。1962年に世界で最初に設立されたアメリカのメルボルン高校インターアクトクラブの創立記念日にちなみ、この週間では、インターアクトクラブ(以下「IAC」)と提唱ロータリークラブが共同で活動を行い、IACの地域社会への貢献を多くの人々に知ってもらう週間とするように求められています。

当地区には年度当初の時点で24のIACがありました。今年度に入って神崎ロータリークラブの提唱によって「神崎高校インターアクトクラブ」が設立され、2015年1月10日、認証状伝達式が予定されています。さらにいくつかの高校でもIAC設立の計画があり、うれしい限りです。

IACの目的は、「奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青年男女に提供する」と規定されています(インターアクト定款)。ロータリークラブの活動を若いインターアクターと共にすれば、クラブに活気が出ることは間違いありません。このような素晴らしい活動をするIACに、すべてのロータリークラブの皆様が関心を寄せられることを期待しています。

IACの支援には多大な費用がかかるのではないかと懸念する声も耳にします。しかし、ロータリー章典には、IACのプログラムの遂行の費用は当該IAC自身の

責任において調達すると明記されています(「インターアクトに関する方針声明」24、d)。IACの活動は自立的に行われるのが本来であるようです。しかし、私たちの周りのIACはすべて中学、高校に基盤を置くクラブですから、資金調達をインターアクターのみの責任にすることは実際問題として無理だと思います。したがって、提唱ロータリークラブが相当な範囲での資金援助をすることはやむを得ないでしょう。大切なことはIACの自立性、独立性を尊重することです。その上で必要な範囲で財政的援助もし、その分、ときには必要な指導もしながら、温かくインターアクターの活動を見守り、育てて欲しいと思います。そしてインターアクターが日頃の活動を通じて自然にロータリー精神を学ぶように導いていただきたいと思います。

他地区から地区大会の案内が届いています。きらびやかなチラシを見ながら、当地区の地区大会の構想に思いを巡らしています。地区大会は地区内のすべてのロータリアンが共に学び、交流する貴重な機会です。一人でも多くのロータリアンが参加されることを期待しています。

これから寒さが一日一日と増してきます。どうぞご自愛ください。クラブの皆様にもどうぞよろしくお伝えください。

義援金(広島地方・丹波地方)のご協力ありがとうございました。

今年の夏は異常気象が続きました。各地で豪雨による地滑りや床上浸水が多発し、多くの貴重な人命が奪われました。

とりわけ、広島市の豪雨災害は連日大きく報道され、被害の甚大さに息をのむ思いでした。そして当地区でも、丹波市の市島地区を中心として甚大な被害が発生し、同地区をテリトリーとする柏原ロータ

リークラブの会員にも大きな被害を受けられた方がいます。

そのようなことで当地区では各ロータリークラブに、広島地方(国際ロータリー第2710地区)と丹波地方に対する義援金の要請をいたしました。

短い間であったにもかかわらず、地区内全クラブから多くの義援金が寄せられました。

広島地方に対する義援金は、さる9月26日、合計金245万円を第2710地区に送金いたしました。また、柏原ロータリークラブには10月3日の公式訪問例会の場で金240万円を会長に直接手渡しました。会員の皆様のご協力にあらためて感謝申し上げます。



丹波地方豪雨災害の義援金を手渡す
滝澤ガバナー(左)、右は柏原RC富田会長



国際ロータリー第2710地区から届いたお礼状



2016-17年度 RI会長 John Germ(ジョン・ジャーム)氏のご紹介 (米国テネシー州RI第6780地区 チャタヌーガRC所属)



2014年10月1日、インターナショナル・ポリオプラス委員会の現委員長でもあるジョン・ジャーム氏が会長ノミニーとして正式に決定されました。エンジニアであるジャーム氏は、空軍に4年間在籍した後、1965年、エンジニアリングのコンサルティング会社であるCampbell and Associatesに入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者（CEO）を務めています。

また、Public Education Foundation、Orange Grove Center社、Blood Assurance社など、複数団体の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundationの創設者および財務長、Tennessee Jaycee財団の会長も務めています。

■ロータリー歴

1976年にロータリークラブに入会。RI副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI会長エイドなどを歴任。ロータリー超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともに、夫婦でアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっています。



2016-17年度 RID2680ガバナーノミニー 室津義定氏(尼崎中RC所属)のご紹介



ガバナー月信2013年第4号にて各クラブに対し2016-17年度ガバナーノミニー候補者推薦をご依頼しておりましたところ、尼崎中ロータリークラブより同クラブの室津義定会員を推薦する旨の決議書並びに同意書が提出され、ほかには推薦がありませんでした。ガバナー指名委員会において慎重審議の結果、このたび尼崎中ロータリークラブの室津義定氏を、全会一致で適任者として指名いたしました。よってここに同氏が「2016-17年度ガバナーノミニー」に決定されたことを宣言いたします。同氏の今後のご活躍とご健勝を祈願いたします。

国際ロータリー第2680地区

ガバナー 滝澤 功治
ガバナー指名委員長 宮本 一

■略歴

1940年3月20日生まれ
1963年 大阪府立大学航空工学科卒業
1969年 大阪府立大学工学博士
1982年 大阪府立大学教授
1990年～1992年 大阪府立大学工学部長
1999年～2006年 大阪府立工業高等専門学校校長
1999年 大阪府立大学名誉教授
2006年 大阪府立工業高等専門学校名誉教授
著書：『航空宇宙工学入門』（森北出版）、ほか16篇
受賞：日本造船学会論文賞ほか3件
表彰：産業教育120年記念文部科学大臣表彰

■ロータリー歴

2000年 尼崎中ロータリークラブ創立会員
2002-03年度 尼崎中ロータリークラブ会長
2007-08年度 GSE団長(米・ルイジアナ州派遣)
2009-12年度 地区ロータリー財団GSE小委員長
2011年3月 ロータリー財団地区奉仕賞
2011-12年度 GSE団長(印・グジャラート州派遣)
2012-15年度 地区ロータリー財団補助金小委員長
2013-14年度 尼崎グループガバナー補佐
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
第1回米山功労者

対談シリーズ「ガバナーと話そう」

ロータリー財団
委員会

三木 明 委員長 VS ガバナー 滝澤 功治

滝澤：ロータリー財団にとって、今、一番重要なことは何でしょうか。

三木：まず、会員の皆様にロータリー財団の重要性と役割、そして精神を理解して頂くことだと思います。ロータリー財団は「世界でいいことをしよう」という標語を掲げていますが、様々な人道的、教育的活動は、この精神を形として表現したものだと思います。特に、ポリオ撲滅は30年の長い歴史の中で、ようやくその成果が見えてきました。文字どおり「あと少し」です。

滝澤：地区のロータリー財団委員長の役割とはどのようなものでしょうか。

三木：地区委員は、ガバナーの意向すなわち国際ロータリーの考えや情報を各クラブに伝達することが最も重要な役割だと考えています。でも、ただ多くの情報を提供するだけでなく、どのようにすれば、財団に対する理解を得られ、協力をして頂けるのか考えなければなりません。

滝澤：今、公式訪問をしています。ロータリー財団の資金の流れはよくわからないという意見がありました。多分、寄付したお金の使い道の報告がないという意味かと思います。

三木：地区財団セミナーや補助金セミナーの中で財団の会計についてお話する機会が多くあります。財団は、HPでガラス張りの会計報告をしていますよ。確かに、どこを見ればわかるかなど、資料の探し方を、委員会からきめ細かくお知らせすることも大切です。財団は世界中のロータリアンからお預かりした浄財を1セントも無駄にすることなく、高い透明性のもとで運用しています。そのために、私たちが補助金を使う時には、様々なルールに従う必要があります。例えば沢山の書類を提出して頂かねばなりません。公平にしかも厳しく審査しなければならないので、そのことをご理解いただき、面倒がらずにチャレンジして頂きたいと思います。

滝澤：地区ガバナーとして、会員一人当たり年間15,000円という数字を上げて寄付目標を掲げています。この目標を達成するには、どのようなことをしたらよいのでしょうか。

三木：ポリオや色々なプログラムを実施するためには、やはりある程度の資金が必要です。当地区では、



以前の年間10,000円の目標を大きく上回り、13,000円を超える実績があります。もう少し努力すれば15,000円も達成できるのではないのでしょうか。やはり、財団の仕組みを理解して頂き、さらなる一歩を踏み出すにはどうすればいいのかをお一人お一人が考えてくださることが大切だと思います。

滝澤：「未来の夢計画」について、地区補助金の締め切りが3月では早すぎる、という声を聞きます。どうしたらよいのでしょうか。

三木：未来の夢計画では手続きの時間が相当短縮されました。そのことにより、運営経費も抑えられてきました。ただ、奉仕活動をするにあたり計画段階から実行に移すまでに複数年度かかります。そのためどうしても締切が早くなります。新年度からスタートできるように、財団に向けて要望を出すことも今後考える必要があるかもしれませんね。ただ、今の段階では、クラブ会長エレクトが次年度の活動計画を立てるときは、補助金を上手に活用することを視野に入れて頂きたいと思います。そのためにもぜひ財団セミナーにご出席頂き、手続をよく理解して頂きたいですね。

滝澤：「未来の夢計画」の実施状況をどのように見えていますか。

三木：2017年に財団創立100周年を迎えるのですが、奉仕の第二世紀に向けてプログラムが大きく変更になりました。ロータリーの中核的価値観に沿った活動をしようという趣旨を各クラブがご理解下さっているとありますが、実際に補助金制度の趣旨や仕組みを理解し、有効利用をしようとする機運が高まっていると感じています。



インターアクト 小委員会

三木 健義 小委員長



ガバナー 滝澤 功治

滝澤：今年度は8月に全国インターアクト研究会と全国インターアクト地区委員長会議、そして当地区のインターアクト年次大会と行事が続きました。一連の行事を終えて小委員長としてどのように感じましたか。

三木：全国インターアクト研究会と全国インターアクト地区委員長会議は情報交換の場として、また同じ立場の方々の繋がりを広げる場として十分機能したのではないかと思います。いくつかの課題が明確になりましたが、進むべきヒントは出てきており、各地域共通的な問題によりすっきりとした回答が出てくる期待感が感じられます。

滝澤：インターアクト年次大会では各クラブの活動成果の発表を興味深く拝見しました。

三木：地道な活動であっても、発表の場を設けることでモチベーションを上げることができると思います。毎回、限られた予算の中で、生徒の心に残る企画を作りあげておられる顧問の先生や提唱クラブの皆様には頭が下がります。

滝澤：インターアクトクラブを見ていると、活動が活発なクラブもあれば、他方で会員も少なく、存立すら危ういクラブもあるように見えます。どうしてそうなるのでしょうか。

三木：学校との協力体制の確立が重要だと思います。具体的には学校長の理解や顧問教員に人を得ることですね。中でも、顧問の先生の理解・行動は重要な鍵になっています。そのためには、ロータリーの働きかけが必要ですね。その上で参加した生徒にとって、得るものが多い事業をすることができれば、学校の理解も増して、さらに動きやすい環境が整ってくるように思えます。ボランティア活動に対する一般の人の理解も高まり、そのような活動をしている生徒や学校への評価も高まる中で、インターアクトクラブの重要性は益々大きくなっているように感じます。

滝澤：インターアクトは3年で生徒は卒業してしまうので、毎年コンスタントに活動の担い手を確保していかないと活動が尻すばみになってしまいませんか。

三木：活動が人材頼りになることは否めませんし、クラブによって温度差が出てくることも事実です。でも当地区では、積極的に活動を行っているクラブが、他のクラブへ参画を呼びかけることによって、他の学校も参加していこうというような自発的な動きが活発になっています。全国インターアクト研究会を行う中で、数多くの準備会議を行ったひとつの成果でもあらうと思います。このような事業をすれば、生徒も生き生きと参加し、成功事例を見ることによって刺激を受けて全体のレベルの底上げになればと思います。

滝澤：ここ一年ほどの間にインターアクトクラブが3つも増えました。一見、インターアクトクラブは作るの簡単なのにも見えますが、どうでしょうか。

三木：ロータリアン、学校長、教員という人材と、



例えば、クラブの周年行事というような時の巡り合わせがうまく重なれば、苦労は伴うものの、比較的簡単にできているように見えます。活動を必要としている社会の情勢も味方していると思います。でも検討を開始してから設立までやはり1年では難しいですね。ロータリーの側からすれば、準備が複数年度にまたがるわけですから、その間の継続的な理解と活動が必要です。これから新たに作ろうというクラブにとって、設立までと、そして設立後にどのような活動をすればよいのか大変気になるところで、そのあたりの不安が解消されたら、設立は必ず成功すると思いますよ。

滝澤：今、インターアクトクラブを作る計画のあるクラブの情報を把握していますか。

三木：数校ほど設立意思があるという情報は聞いています。

滝澤：私は、インターアクトの皆さんに、インターアクトを卒業しても、ロータリーとの縁を持ち続けるように呼びかけています。インターアクトで学んだことを大切にしてほしいのですが、ロータリーとしては、どのようにしたらよいと思いますか。

三木：先日、柏原ロータリーアクトクラブの認証状伝達式に出席しました。柏原ロータリークラブは3校のインターアクトクラブを提唱していますが、卒業してもロータリーとの関係を持ち続けたいという人に対しては、顧問の先生が卒業後の進路先地域でのロータリーアクトクラブを紹介されているようです。一方で、地元に残る人も多いため、その人達の受け皿を作っておきたいという思いから、柏原でロータリーアクトクラブを作ったそうです。

滝澤：そうすると、地域のロータリーアクトクラブが重要な鍵となりそうですね。

三木：形態としてはそうですが、やはりインターアクトクラブ在籍の時から、顧問の先生を通じて、または直接ロータリークラブと接し、その考え方に共感や感動を覚えてもらう機会を増やすことが、重要なのではないかと思います。

滝澤：ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

「My Rotary」を活用しよう

第2ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター 高野孫左工門 (甲府)

2013年6月、ロータリーの新しいロゴが登場、同時に、これまでロータリアンの情報源として活用されてきたウェブサイトもリニューアルされました。

新しいウェブサイトは『リーダーのネットワークへ（さまざまな国・文化・職業のリーダーとつながろう）、アイデアを広げよう（交流のネットワークに参加し、視野を広げよう）、行動しよう（豊かな町づくりをめざし、持続的な、発展を支援しよう）』をキーワードに、戦略計画に基づいた「地区やクラブの活性化」推進のためのリソースが整備されています。

一般的には、ロータリーは世界で多くの「よいこと」を行っているにもかかわらず、それがほとんど知られていないという事実が国際ロータリーの調査により明らかになりました。

ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしていこうというのが、この取り組みの目的です。その対応として「ビジュアルアイデンティティ」と「ボイス」が提示されました。

「ロータリー活性化」の新しい「ビジュアルアイデンティティ」では、ロゴが新しくなっただけでなく、色、フォント、写真のスタイル、アイコンなど、ロータリーとしての一貫性を保ちながらも柔軟にデザインするためのガイドラインが定められています。

このガイドラインを参照し、クラブが作る資料やホームページなど、ありとあらゆるコミュニケーションにロータリーのブランドを反映させてみてください。（ガイドラインは国際ロータリーのウェブサイト内「ブランドリソースセンター」(www.rotary.org/ja/brandcenter) からダウンロードできます。

ガイドラインに加え、クラブが作成する資料にロータリーのブランドを取り入れるのには、ロータリーの新しい「ブランドリソースセンター」が役立ちます。「ブランドリソースセンター」から資料のテンプレートやロゴなどを簡単にダウンロードできます。

既に、国際ロータリーのウェブにある「My Rotary」への登録は済まされていると思います。同サイト内の「運営する」から「ブランドリソースセンター」にアクセスされると、様々な資料やテンプレートを活用する環境を得られます。使える資源は存分に活用し、公共イメージ向上に取り組んでいただくことを願います。

また、日本国内34地区、全ガバナーによるウェブサイトが開設されており、それぞれ特徴のある活動を掲載されておられますので、準備段階でのアイデアを膨らませるツールとして活用いただけるものと思います。ぜひともご覧いただきご参考になしてください。

更に、クラブのウェブサイトやフェイスブックを新しくすることに挑戦してください。

これはロゴを入れ替えるだけではありません。肝心なのは、ロータリー内部と外部の人のびとを結びつけ、誰にとっても魅力的で、ロータリーとして一貫したイメージを与えることです。

「ロータリー活性化」で私たちがお願いしているのは、ロータリーの良さや魅力をできるだけ多くの方に理解してもらえよう、それぞれのクラブで取り組んでいただくことです。明確なメッセージ、そして、これまでよりも一貫性のある「ビジュアルアイデンティティ」によって、外に向けたロータリーのイメージをさらに強く打ち出すことができると私たちは期待しています。これは、私たちロータリーが必要としていることなのです。

今後のロータリーの発展を願い、皆さまのご協力をどうかお願いいたします。

Rotary Breeze

第4回 ロータリーの魅力(一業種一人制度)

地区研修リーダー 久野 薫 (神戸東)

ロータリーの魅力とは何か。それは会員によって異なります。しかしロータリーの本質の中に見出された魅力でなければ持続きはしないのです。では本質とは何でしょうか。私はロータリーの中核的概念（親睦と奉仕の調和）とそれを育む原理原則、そしてそれを生み出した歴史的過程にあると思います。なかんずく一業種一人制度、例会出席重視の組織原理の中にあると考えているのです。親睦を担保するための妙手、一業種一人制度はすぐに制度破綻を来しました。会員増強とのジレンマであります。1915年アディショナル正会員制度が導入され、更に新たなカテゴリーのアディショナル正会員が設けられ1991年には元ローターアクト会員も新たなカテゴリーに加えられたのです。したがって、この時既に正会員をくわえて同じ職業分類（小分類）をもつ合計最大4名の会員が在籍可能となったのです。他に職業分類を返上した同業者として1930年、1939年にそれぞれパストサービス、シニアアクティブ会員制度が導入されました。2001年の規定審議会で会員の種類は正会員と名誉会員の二つに単純化され同時に職業分類の10%ルールが採択されました。その採択に落胆する向きもありましたが、実はその素地は以前からあったということなのです。然し7 Days Noticeでクラブの自治権を発揮すれば一業種一人制度を死守する事は可能です。そうすれば失われつつあるロータリーの一つの魅力を取り戻す事は可能だと思っております。



■ 次期ガバナー補佐のご紹介

| グループ | 氏名 | 所属クラブ |
|------|------------------|-------|
| 尼崎 | 久保太郎 (くぼ たろう) | 尼崎北 |
| 阪神第1 | 臼井滝蔵 (うすい たきぞう) | 伊丹昆陽池 |
| 阪神第2 | 太田博 (おおた ひろし) | 西宮 |
| 阪神第3 | 黒田由弘 (くろだ よしひろ) | 柏原 |
| 神戸第1 | 阪本豊起 (さかもと とよき) | 神戸南 |
| 神戸第2 | 瀧川好庸 (たきかわ よしのぶ) | 神戸西 |
| 東播第1 | 日置大之 (ひおき ひろゆき) | 明石北 |
| 東播第2 | 長谷川昌美 (はせがわ まさみ) | 加古川 |
| 東播第3 | 小谷正博 (こたに まさひろ) | 北条 |
| 淡路 | 富本東平 (とみもと とうへい) | あわじ中央 |
| 西播第1 | 常次佳丈 (つねつぐ よしたけ) | 神崎 |
| 西播第2 | 大川幸矩 (おおかわ ゆきのり) | 相生 |
| 但馬 | 古屋耕三 (ふるや こうぞう) | 和田山 |

11 月 地 区 活 動 予 定

| 日 | 時 | 行 事 名 | 場 所 |
|----------|--------|-------------------------------|-------------------|
| 1日(土) | 10:00~ | 第4回米山奨学委員会 | 神戸東急イン「メイプル」 |
| 1日(土) | 14:00~ | 第2回地区運営会議 | 神戸センタープラザ西館6階17号室 |
| 3日(月・祝) | 13:00~ | 奉仕活動合同セミナー(豊岡) | 豊岡鞆会館ホール |
| 5日(水) | 15:00~ | 第4回クラブ奉仕委員会 | 神戸東急イン「メイプル」 |
| 8日(土) | 15:00~ | 西播第2グループIM | 赤穂ロイヤルホテル |
| 9日(日) | 13:00~ | ローターアクト「スポーツ大会」 | 姫路市立中央体育館 |
| 9日(日) | 13:00~ | 奉仕活動合同セミナー(明石) | 明石商工会議所 |
| 11日(火) | 18:30~ | 第4回多様化小委員会 | 神戸ポートピアホテル724号室 |
| 15日(土) | | グローバル補助金VTTネパールチーム来日(～12月22日) | 岡本病院(篠山) |
| 15日(土) | 15:00~ | 第8回職業奉仕委員会 | 神戸勤労会館406号室 |
| 15日(土) | 7:45~ | 米山日本文化セミナー | 姫路 |
| 16日(日) | 11:30~ | I.Y.F.R.秋の懇親会 | ウェスティンホテル淡路 |
| 16日(日) | 13:00~ | 奉仕活動合同セミナー(洲本) | 洲本 ホテル夢海游 |
| 21日(金) | 18:00~ | 米山奨学生選考面接官オリエンテーション | 神戸東急イン「ボールルーム」 |
| 22日(土) | 11:30~ | 東播第1グループIM | 舞子ビラ神戸「舞子の間」 |
| 23日(日・祝) | 10:00~ | 青少年交換短期派遣生(タイ)選考会 | 神戸ポートピアホテル724号室 |
| 24日(月・振) | 10:30~ | インターアクト地区指導者育成セミナー(明石西高校ホスト) | 明石西高校 |
| 29日(土) | 13:00~ | 淡路グループIM | ホテルニューアワジ |
| 30日(日) | 12:30~ | 但馬グループIM | ブルーリッジホテル |

公式訪問だより



尼崎ロータリークラブ

◆9月1日(月)



公式訪問例会中、ガバナーがお好きなビートルズのピアノ演奏を大変お気に召され、感謝のお言葉を頂戴しました。ロータリーの理念、今年の方針などを熱く語られる姿にクラブ運営への気持ちを新たにされた例会でした。



西宮ロータリークラブ

◆9月2日(火)



懇談会ではクラブ運営の多岐に亘る分野で意見交換を行い、また例会においてはRI及び地区の考え方を、穏やかなお話しぶりの中にも情熱をもって語られました。とりわけロータリアンの高潔性や研修の大切さを強調されていたのが印象的でした。

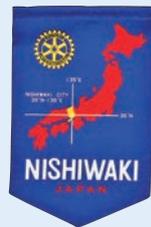


尼崎東ロータリークラブ

◆9月3日(水)



昨年度創立40周年記念事業の一環として、8名の会員増強を行いました。公式訪問でガバナーよりロータリーの根幹的な部分を中心に講話頂き、何よりの会員研修となりました。有難うございました。



西脇ロータリークラブ

◆9月8日(月)



会員数は44名で平均年齢は若い。西脇高校IAC・プロバスクラブ松籟と連携した活動が特徴。「貴クラブは少し内向き。高潔性を核にもっと外に向けた活動を」とのご指摘にヒヤリ。その夜はみごとな中秋の名月でした。



三木みどりロータリークラブ

◆9月8日(月)



当クラブは会員同士の結束が強く、情報交換が活発に行われているクラブだと思います。滝澤ガバナーが卓話でお話しされたように、今年度のテーマ「ロータリーに輝きを」を指標に、会員一人一人が明るく輝き、問題解決に努力し、ロータリーの戦略計画にある「人道的奉仕」を「高潔性」をもって一番に行動に移すことを常に考えてクラブ運営に生かしていきたいと思っています。



北条ロータリークラブ

◆9月9日(火)



公式訪問を通じ、出席の重要性、ロータリーデーの取り組み方、インターアクト設立についてご助言を賜りました。ガバナー行動方針を深く理解し、ロータリーのイメージ向上にむけて今以上に活動する決意を確認できる機会となりました。

◆ 柏原ローターアクトクラブ認証状伝達式

9月7日(日)◆J A丹波ひかみ柏原支店2階

ローターアクト小委員長 中本広太郎(神戸)

9月7日、新設された柏原ローターアクトクラブの認証状伝達式が、J A丹波ひかみ柏原支店2階にて執り行われました。

提唱クラブは柏原ロータリークラブ(富田博重会長)であり、2014年6月1日付で設立されました。当地区としては2006年4月12日に設立された神戸女子大学ローターアクトクラブに次ぎ約8年ぶり、7クラブ目のローターアクトクラブの誕生となります。

当日は滝澤功治ガバナー、丸尾研一エレクト、黒田建一青少年奉仕委員長をはじめ多くの地区委員、ご来賓の方々の出席のもと、そして奥田裕ローターアクト地区代表、原田香澄ローターアクト地区幹事をはじめ、姫路、神戸、淡路、神戸北、神戸女子大学から多くのローターアクターがお祝いに駆けつけるなか、認証状が滝澤功治ガバナーから赤尾実紗柏原ローターアクト会長に手渡されました。



◆ アクトの日

9月7日(日)◆丹波市柏原町周辺

柏原ローターアクトクラブ 会長 赤尾 実紗

丹波市柏原町周辺にて全国統一「アクトの日」、統一アクトを開催しました。

今回の活動は「あなただけの新しい柏原を」と題し、若い視点から町の新しい魅力を発見し発信していくというものです。今年度の第2680地区ローターアクトテーマ“MoMENT”になぞらえ、“New”や“Traditional”などといった4つのテーマを設定し、実際に町を歩きながらチームで話し合い、スマートフォンなどでテーマに添った写真を撮影し、全体で共有しました。

今回初めて柏原を訪れた参加者が大半でしたので、多くの新しい視点と発想力で、これまで気づかれなかった町の魅力的な一面に光をあてることができました。多くのローターアクターやロータリアンの皆様、そして地元高校のインターアクターの参加もあり、新しい交流と発見の生まれるアクトの日となりました。

また、今回は柏原ローターアクトクラブ創設初の行事となり、一同緊張の中迎えた行事でしたが、多くの皆様のご協力のおかげで開催することができました。厚く御礼申し上げます。



◆ 米山カウンセラーミーティング

9月13日(土)◆神戸勤労会館405号室

米山奨学委員長 林 浩嗣(神戸須磨)

当日の参加はカウンセラー19名、委員16名。最初に滝澤功治ガバナーから、「米山奨学事業は他地区合同事業であり、RIからも認められている。この事業はカウンセラーの皆さんと奨学生との交流に関わっているので引き続き宜しく。」との挨拶の後、委員長によるミーティングの趣旨説明と年間行事予定の確認がありました。各カウンセラーからの報告では、奨学生が例会に参加する服装について全員で確認する事が出来るなど、有意義なミーティングとなりました。



◆ 職業奉仕神戸地域セミナー

9月13日(土)◆神戸東急イン「ボールルーム」

職業奉仕委員長 滝内 秀昭(伊丹)

今年度の職業奉仕セミナーは、地区内5か所（伊丹、神戸、姫路、洲本、豊岡）で順次開催いたしております。

第一弾として8月2日（土）阪神地域セミナーを開催いたしました。今般第二弾として、9月13日（土）神戸地域にて開催いたしました。当日は、神戸第1～第2グループを中心として、ロータリアン115名、一般8名、合計123名という多数の参加をいただきました。今回も、事業継承予定者2名、従業員5名、配偶者1名の参加がありました。このように徐々に一般の方の参加も増えてきており、ロータリーブランドの向上の一助となれば幸いです。

セミナーは滝澤ガバナーの挨拶に続き、第1部として深川純一パストガバナーによる「会社はだれのものか」という講演、次に丸尾ガバナーエレクトより謝辞をいただき、第二部として安平和彦パストガバナーによる「企業の社会的責任（CSR）」という講演を行いました。

お二人のご講演はテーマこそ違いますがロータリーの職業奉仕論を理解する上で、大変貴重な内容で、前回セミナーとは少し内容も違い、参加者には大好評でした。

その後、グループディスカッションを行い、講演に対する感想、各クラブでの職業奉仕の取り組みに関する情報交換を行い、盛会裏の内に閉会いたしました。

今年度は、何回でも参加自由となっておりますので、何度でもご参加ください。



◆ 増強・拡大/研修合同セミナー

9月21日(日)◆神戸商工会議所神商ホール

増強・拡大委員長 名越 亮(川西)

本年度は滝澤ガバナーの行動方針“TRY SOMETHING NEW（何か新しいことをしよう！）”のもと、増強・拡大委員会と研修委員会の合同セミナーを企画しました。合同の委員会を何回となく重ねた結果、第一部を「鼎談・ロータリー今昔物語」と題して、滝澤ガバナー・久野地区研修リーダー・中村パストガバナー（昨年度地区研修リーダー）に壇上において熱く語っていただきました。主な内容はクラブの環境を勇気をもって変えなければいけない。ロータリーの片寄った考え方を解くために勉強会をクラブ内で開催して欲しい。勉強会を行うことによりクラブは強くなる。反面、勉強し過ぎると現実とのギャップから、返って退会者が増えるのではとの意見もあり内容の深い談議となりました。第二部では「語り合おう！ロータリーを」をテーマに各グループに分れて討議頂きました。第三部ではその結果をグループ議長をしていただきましたガバナー補佐の皆様より発表頂きました。主な内容は「ロータリーの規制が緩むほどロータリー先進国の退会者が増えている」、「閉鎖性、敷居が高いほうが良い（ステイタスが無くなってきている）」、「自分の実力を養成するところがロータリー」、「あなたはクラブの広告塔」、「ロータリーの魅力を知るには地区に出るのが早道（楽しむ＝好きになる＝知らないといけない＝勉強する）」、その他たくさんのご意見を頂戴いたしました。後日まとめて各クラブに送付したいと思っています。



● 第2回クラブ奉仕委員会

9月3日(水)◆神戸東急イン「メイプル」

クラブ奉仕副委員長 城 守(姫路)

滝澤ガバナーの挨拶の後、「例会力」をテーマに中村アドバイザーから基調講演がありました。会員増強に傾倒しているRIと例会を大切にしている日本のロータリーとのズレを例に、日本のロータリーの良いところと改善すべきところに焦点をあて、本日の議題へと繋いで頂きました。

1) 各クラブ奉仕委員会の状況

クラブ奉仕委員長が会長エレクトを兼務しているのは73クラブ中40クラブであった。

クラブによって委員会に課せられた内容は様々であるが、具体的に何かをする委員会ではないように見受けられる。

2) 地区クラブ奉仕委員会の目指す方向

クラブが活性化するために他クラブの情報も得られる機会をつくる必要があるとあり、参加して頂く対象者の見直しも必要である。など多くの意見があり、次回委員会にて具体的な計画をすることになりました。



● 第3回米山奨学委員会

9月6日(土)◆神戸勤労会館405号室

米山奨学委員長 林 浩嗣(神戸須磨)

1) カウンセラーミーティングのプログラムの確認。

2) 米山月間での奨学生への卓話依頼についての報告。

3) 日本文化セミナーについて、今年は姫路方面とする。開催は11月15日の予定。

4) 2015学年度米山奨学生面接について、

面接官に女性会員を加える。委員会からは情報・寄付小委員会と選考小委員会の全ての委員が面接を担当する。面接官のオリエンテーションを11月21日(金)18時より行う。面接選考会は12月13日(土)に3組に分かれて行う。

5) 米山セミナーの議事録より疑問点などの整理を引き続き行う。

● 第6回職業奉仕委員会

9月6日(土)◆神戸勤労会館407号室

職業奉仕委員長 滝内 秀昭(伊丹)

滝澤ガバナー挨拶、滝内委員長の挨拶の後、

①神戸地域セミナー準備について

②職業奉仕月間対応について

③9/20の委員会開催について

議論を行いました。

主たる内容は、

①に関して阪神地域セミナーとの変更点は

- ・席はテーブル指定
- ・グループディスカッションに関しては、司会・進行役を決める。

②に関しては、職業奉仕に対する思いの寄稿文書集の作成を年間事業として行う事を目指す。

③に関しては、休会とするという事に決定。

最後は丸尾ガバナーエレクトよりGETSの報告を中心とした閉会の挨拶で締めくくられました。





● 第1回戦略計画委員会

9月9日(火)◆ホテル『若水』(宝塚)

2013-14年度代表幹事 大橋 泰弘(宝塚武庫川)

滝澤功治ガバナーの報告事項として

1. 地区会員数の動向
2. 2014-15年度セミナー実施状況
3. 第3回全国インターアクト研究会並びに第1回インターアクト委員長会議
4. 地区補助金・グローバル補助金の現況
5. 広島地方・丹波地方への災害義援金
6. ロータリー希望の風奨学金
7. 後援依頼 ①麻薬・覚せい剤乱用防止運動兵庫大会
②第16回神戸YMCAチャリティーラン
8. 一般財団法人 比国育英会バギオ基金
9. ガバナー指名委員会現況報告
10. 地区大会・RIサンパウロ国際大会
11. その他



について約90分、報告と討議が行われ、続いて丸尾研一ガバナーエレクトより、9月2日開催の、2014-15年度ガバナー・エレクト研修セミナーの報告がありました。

● 第2回ポリオプラス小委員会

9月15日(月・祝)◆神戸ポートピアホテル724号室

ポリオプラス小委員長 久保 恭利(尼崎南)

1. 10月12日開催のロータリー財団セミナーの件
ポリオ募金箱とパンフレットを封筒に入れ、当日各クラブに渡し、ポリオ撲滅をアピールし募金活動をしていただく。
2. 横断幕作成の件
子供達にポリオのない世界を実現するため、横断幕を作成し、ポリオ撲滅をアピールしていく。
3. チャリティーコンサートの件
2015年3月8日(日)、神戸市東灘区のうちらホールにて、ロータリー財団学友の佐藤恭子さんとゴールデンシニアトリオによる「ポリオをなくそうチャリティージャズコンサート」を行うこととした。

● RID2670・2680 RYLA合同委員会

9月15日(月・祝)◆西村屋和味旬彩(神戸)

RYLA小委員長 大江与喜子(西宮恵美寿)

2670地区のガバナーはじめ、RYLA委員会関係者13名の出席を得て、決定事項の確認と提案事項について協議した。両地区ともカウンセラーが決定した。今年度は開催時期が5月のため、受講生がカウンセラーミーティングまでには決定している予定。セミナーでの刺繍の名札について、今年から新しく変更するが、年度を入れずに何年も使用できるようにする。今井鎮雄先生の意味を継承するため、安行英文氏による「RYLA実践講座」という冊子が纏められた。

● 第4回VTT小委員会

9月16日(火)◆神戸センタープラザ西館11号室

VTT小委員長 吉岡 博忠(伊丹)

VTT小委員会で実施する尼崎西RC提唱のVTTのモニタリングについて、以下の項目を協議し実施することとしました。

- ・申請書の目的に沿った研修の実施
 - ・適切な研修日程に沿って実施
 - ・「授与と受託の条件関連」モニタリング
 - ・「グローバル補助金モニタリングと評価の計画」関連モニタリング
 - ・研修内容は申請書に沿って実施
 - ・「重点分野の基本方針関連」モニタリング
 - ・「グローバル補助金モニタリングと評価の計画」関連モニタリング
- ネパール事前調査報告 ・VTT「ネパール看護師能力向上プロジェクト」調査報告(2014/08/24)により報告
その他 ・本プロジェクトモニタリングについての委員の役割分担及び日程調整について委員長よりメールで依頼する。
・本プロジェクトの地区主催の行事について提唱RCと調整する。

● 第4回新世代奉仕交換小委員会

9月17日(水)◆神戸ポートピアホテル724号室

新世代奉仕交換小委員長 安行 英文(三田)

今回の評価

- ホストファミリー依頼の難しさ
吉田委員作成の神戸東RCでのアンケート調査にもとづくホストファミリーの掘り起こしは今後の委員会での指標になる可能性があり、大いに活用することで一致した。
- 研修内容の明確化も必要である。
- より細かいタイムスケジュールを設定すべきである。
- 担当委員の必要性もある。
- 台湾との提携の可能性を丸尾エレクトに依頼する。
- コロンバスとの今後の調整も早期に必要である。
- ローターアクトを中心にしながらも、その他の応募者のためにアンケートを実施する。
- クラブを通じてのアンケートを考える。
- 全体として有意義なプログラムを行えたことを確認した。
- 危機管理的に充分配慮しながらも柔軟な研修が可能であることを確認した。
- 今後の予定
10月中に派遣相手先に問い合わせる。
10月中旬には募集要項を発送する。
アンケート要項も確認して募集要項と一緒に発送する。
選考は11月19日(水)午後6時から行う。

● 第8回補助金小委員会

9月21日(日)◆神戸東急イン「メイプル」

補助金小委員長 室津 義定(尼崎中)

- (1) 地区補助金奉仕プロジェクト申請要項
一部修正し、決定。
- (2) 地区奨学金タイプ3の申請要項、グローバル補助金人道的プロジェクト申請要項決定。
- (3) ロータリー財団セミナープログラム
一部修正し、決定。
- (4) ロータリー財団セミナー会場準備
・セミナー会場下見：10月3日、集合：正門前17:00、
参加者：瀬戸、佐茂、室津、久保
・10月12日会場準備：補助金小委員会、集合：10:00小委員会会場
- (5) 奉仕活動合同セミナープログラム：10月12日最終決定
- (6) 奉仕プロジェクトの評価項目：資料提示

● 第8回青少年交換小委員会

9月22日(月)◆神戸ポートピアホテル724号室

青少年交換小委員長 武田 寿子(神戸西)

1. 青少年奉仕セミナーアンケートについて
黒田委員長より、おおむね好評であったが総括の時間は30分程度延長すべきとの意見があったとの報告があった。
2. タイ短期交換日程確認が行われ、派遣3月21日-4月5日、来日2015年5月10日-24日。
選考面接は、2014年11月23日(日)10時-14時。選考委員は、滝澤ガバナー、丸尾ガバナーエレクト、黒田委員長、武田小委員長、村角委員の5名。
3. 全国青少年交換シンポジウムについて
第1回 実行委員会 2014年10月23日(木)18:30~ 場所未定。
実行委員にはガバナー名で委嘱状を出す。今後、実行委員会で詰め、アンケートを事前にとる。
4. 次年度交換について
丸尾GEより3490地区 台湾 板橋と長期3名交換を予定。要綱を作成し10月募集。11月23日(日)タイの短期と同日に選考面接(予備日11/29)、インターアクターに呼びかける。



● 新世代奉仕交換派遣生報告会

9月26日(金)◆神戸東急イン「メイプル」

新世代奉仕交換小委員長 安行 英文(三田)

米国オハイオ州コロンバスでの教育機関の研修を終えた新世代奉仕交換派遣生松本恵里奈さんの帰国報告会が行われました。

松本さんは主に、日本との教育事情の違いについて話をされました。

「日本ではダメなところを指摘して萎縮させるのに、その学校ではできると誉めて伸ばすような違いがある。アメリカは『一人ひとりの子ども』という見方が強くあり、小学校1年生から知能テストでクラスを分ける。また教育内容については、日本はアメリカの1学年程先を学んでいる。アメリカはゆっくり学習させるので、できる子どもはそれでは物足りなくなり、同学年でも違う教材を使用する。特に能力差が顕著に現れる科目については、どんどん先に進ませる。加えて、飛び級の仕組みもある。ただ、個に目を向けるということであれば、まず何よりアメリカに学ぶべきは、一人の先生が目の届く生徒数に抑える少人数教育だ。」と報告されました。また、「学校の行事が頻繁であった。」そして「ロータリーの例会では卓話の時間より質問の時間が長く、例会が活発に盛り上がっていたのが印象的だった。」と話されました。

最後に「充実した時間を過ごすことができたこの機会を提供して下さったロータリーという素晴らしい組織、当地区、スポンサークラブの多大な支援に深く感謝いたします。」と述べられました。

また今後もロータリーのファミリーとしてローターアクトに学友にと、もっと積極的に参加、活動することを表明され、閉会となりました。



2014-2015年度 国際ロータリー第2680地区

Rotary
District 2680

地区大会のお知らせ

2015年 2月28日(土)・3月1日(日)

於 神戸ポートピアホテル

2月28日(土)

- 会長・幹事会並びに地区指導者育成セミナー
- 青少年の集い
- RI会長代理歓迎晩餐会

3月1日(日)

- 本会議
- 記念講演
- 会員・家族懇親会

◆ 記念講演 (3月1日)

「日本型思考法では勝てない

～ラグビーに学ぶ人材育成論～」

講師 平尾 誠二 氏

(元ラグビー日本代表監督)

ご入会おめでとうございます(敬称略・クラブ順)

尼 崎



河村 隆次
証券取引所
5/19入会



伊口 隆弘
生命保険
8/18入会



石塚 勉
鉄鋼製造
8/18入会

宝 塚 中



池田 美江
料理店
4/16入会



林田 充弘
小売業
6/25入会



作田 知子
宣伝・広告代理業
8/6入会

神 戸



鈴木 勝男
電気事業
9/4入会



花岡 正浩
老人介護サービス
9/11入会



野原 強
中央銀行
10/2入会

三木みどり



一井 康秀
プレハブ建築及び販売
1/20入会



岩居 康之
鉄骨建築
7/7入会

文 庫 通 信 (325号)

古 典 文 献 よ り (2)

- | | | | | |
|--------------------|---------|-----------|-----|-------------------|
| ◎「ロータリー・クラブに就て」 | 米山 梅吉 | 1929 | 12p | (ロータリー・クラブ民衆文庫) |
| ◎「汎太平洋ロータリー大会に臨みて」 | トム・サットン | 芝染太郎 (解説) | | |
| | | 1929 | 3p | (ロータリー・クラブ民衆文庫) |
| ◎「ロータリークラブの目的と信條」 | 村田 省蔵 | 1934 | 9p | (ロータリーを語る) D.70 |
| ◎「ロータリークラブに就て」 | 坂田 幹太 | 1928 | 12p | |
| ◎「国際ロータリーの組織に就いて」 | 米山 梅吉 | 1931 | 8p | |
| ◎「常識の重要性」 | 米山 梅吉 | 1937 | 6p | (東京ロータリークラブニュース) |
| ◎「新ラシキ會員ノ為メニ」 | 大阪R.C. | 1928 | 43p | |
| ◎「第七十區ガバナー告辞」 | 村田 省蔵 | 今治R.C. | | |
| | | 1935 | 13p | (今治ロータリー倶楽部発会式記録) |
| ◎「サーヴィス座談會」 | 京都R.C. | 1937 | 8p | (京都ロータリー倶楽部週報附録) |

◆ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館：午前10時～午後5時 休館：土日祝日

訃 報



故 河井一成 氏(南淡路)
6月4日 享年70歳



故 田 晴通 氏(伊丹有明)
10月15日 享年73歳



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



日下 孝明
(明石西)



米澤 修二
(三木みどり)



秦 孝一
(淡路三原)



石田希世士
(神戸東灘)



生友 勝幸
(三木みどり)



宮本 圭介
(淡路三原)

ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



黒田 久也
(赤穂)



成世 邦俊
(赤穂)



川西 正廣
(加古川中央)



矢野 宗司
(加古川中央)



浅井 亮至
(淡路三原)



朝家 修
(加古川中央)

第6回 米山功労者

第4回 米山功労者

第3回 米山功労者

第3回 米山功労者

第2回 米山功労者



三村 浩之
(加古川中央)



武田 正明
(加古川中央)



荒巻 順一
(神戸東灘)



多木 有一
(加古川中央)



上月 和洋
(加古川中央)

第1回 米山功労者



松田 眞一
(神戸東灘)



藤原 祥裕
(三木みどり)



金井 宏美
(三木みどり)



上羅 堯己
(三木みどり)



森田須美春
(三木みどり)



井本 学明
(赤穂)

ガバナー事務所からのお知らせ

◆全国青少年交換シンポジウム実行委員会の委嘱

(順不同)

| | | | |
|------|--------------|---------------|---------------|
| 委員長 | 三木 明 (姫 路) | | |
| 副委員長 | 黒田 建一 (西宮夙川) | 坂東 隆弘 (柏 原) | 武田 寿子 (神 戸 西) |
| 委 員 | 三木 健義 (姫 路) | 中本広太郎 (神 戸) | 大江与喜子 (西宮恵美寿) |
| | 安行 英文 (三 田) | 白井 務子 (姫 路 東) | 青木 裕加 (高砂青松) |
| | 藤井 恵一 (篠 山) | 村角 伸一 (姫 路 東) | 仲上 善夫 (姫 路 西) |
| | 東中 弘丞 (神 戸) | 土田 光一 (柏 原) | 徳梅 明彦 (あわじ中央) |

国際ロータリー第2680地区 2014年9月出席報告

| | クラブ名 | 例会数 | 平均出席率 % | 会員数 | | | | | クラブ名 | 例会数 | 平均出席率 % | 会員数 | | | | |
|-----------------------|--------------------|-------|------------|---------------|-----|----|------|-----------------------|--------|------|------------|---------------|-------|-------|----|----|
| | | | | 2014年 7月1日 | 当月末 | 増減 | 女性 | | | | | 2014年 7月1日 | 当月末 | 増減 | 女性 | |
| 尼 崎 6 | 尼 崎 | 4 | 81.51 | 32 | 34 | 2 | 1 | 東 播 第 一 4 | 明 石 | 4 | 84.39 | 54 | 53 | -1 | 0 | |
| | 尼 崎 北 | 4 | 89.82 | 40 | 40 | 0 | 0 | | 明 石 西 | 4 | 100.00 | 43 | 43 | 0 | 0 | |
| | 尼 崎 東 | 4 | 93.78 | 48 | 49 | 1 | 0 | | 明 石 北 | 4 | 94.92 | 45 | 45 | 0 | 0 | |
| | 尼 崎 西 | 4 | 100.00 | 34 | 36 | 2 | 2 | | 明 石 南 | 4 | 96.04 | 24 | 24 | 0 | 0 | |
| | 尼 崎 南 | 4 | 88.57 | 38 | 38 | 0 | 4 | | 小 計 | | 93.84 | 166 | 165 | -1 | 0 | |
| | 尼 崎 中 | 4 | 79.60 | 26 | 27 | 1 | 1 | | 高 砂 | 4 | 97.50 | 43 | 43 | 0 | 2 | |
| | 小 計 | | 88.88 | 218 | 224 | 6 | 8 | | 加 古 川 | 4 | 81.90 | 73 | 74 | 1 | 0 | |
| 阪 神 第 一 5 | 伊 丹 | 4 | 86.30 | 40 | 42 | 2 | 0 | 東 播 第 二 5 | 加古川中央 | 3 | 83.31 | 52 | 54 | 2 | 0 | |
| | 川 西 | 4 | 99.19 | 31 | 31 | 0 | 4 | | 高砂青松 | 4 | 92.99 | 47 | 47 | 0 | 2 | |
| | 伊丹有明 | 4 | 82.74 | 29 | 29 | 0 | 0 | | 加古川平成 | 4 | 90.23 | 12 | 12 | 0 | 1 | |
| | 川西猪名川 | 4 | 97.90 | 24 | 24 | 0 | 4 | | 小 計 | | 89.19 | 227 | 230 | 3 | 5 | |
| | 伊丹昆陽池 | 4 | 93.92 | 21 | 22 | 1 | 0 | | 三 木 | 4 | 99.46 | 57 | 57 | 0 | 0 | |
| 小 計 | | 92.01 | 145 | 148 | 3 | 8 | 小野加東 | 4 | 90.70 | 42 | 43 | 1 | 1 | | | |
| 阪 神 第 二 6 | 西 宮 | 4 | 100.00 | 50 | 52 | 2 | 0 | 東 播 第 三 5 | 北 条 | 4 | 97.40 | 37 | 38 | 1 | 2 | |
| | 芦 屋 | 4 | 84.90 | 48 | 49 | 1 | 0 | | 西 脇 | 4 | 98.85 | 43 | 44 | 1 | 2 | |
| | 甲 子 園 | 4 | 95.35 | 42 | 43 | 1 | 1 | | 三木みどり | 3 | 99.07 | 36 | 36 | 0 | 0 | |
| | 西宮夙川 | 4 | 84.38 | 39 | 41 | 2 | 5 | | 小 計 | | 97.10 | 215 | 218 | 3 | 5 | |
| | 芦屋川 | 4 | 90.63 | 24 | 25 | 1 | 1 | | 洲 本 | 4 | 89.19 | 37 | 37 | 0 | 0 | |
| | 西宮恵美寿 | 4 | 84.00 | 25 | 25 | 0 | 5 | | 南 淡 路 | 4 | 96.29 | 28 | 28 | 0 | 4 | |
| | 小 計 | | 89.88 | 228 | 235 | 7 | 12 | | 淡路三原 | 4 | 95.24 | 21 | 21 | 0 | 0 | |
| 阪 神 第 三 8 | 宝 塚 | 4 | 91.37 | 21 | 20 | -1 | 0 | 淡 路 5 | 津 名 | 4 | 85.53 | 37 | 37 | 0 | 0 | |
| | 三 田 | 4 | 78.50 | 26 | 25 | -1 | 0 | | あわじ中央 | 4 | 98.75 | 20 | 19 | -1 | 0 | |
| | 篠 山 | 4 | 100.00 | 44 | 44 | 0 | 0 | | 小 計 | | 93.00 | 143 | 142 | -1 | 4 | |
| | 柏 原 | 4 | 93.60 | 50 | 50 | 0 | 0 | | 姫 路 | 4 | 90.86 | 90 | 91 | 1 | 0 | |
| | 宝塚武庫川 | 4 | 93.62 | 39 | 39 | 0 | 0 | | 姫 路 南 | 4 | 95.83 | 72 | 73 | 1 | 0 | |
| | 三 田 南 | 4 | 100.00 | 8 | 8 | 0 | 0 | | 姫 路 西 | 4 | 82.08 | 71 | 72 | 1 | 2 | |
| | 宝 塚 中 | 4 | 89.65 | 30 | 31 | 1 | 10 | | 姫 路 東 | 3 | 100.00 | 74 | 74 | 0 | 1 | |
| | HYOGOロータリー Eクラブ | 3 | 100.00 | 23 | 23 | 0 | 5 | | 神 崎 | 4 | 82.26 | 31 | 31 | 0 | 0 | |
| 小 計 | | 93.34 | 241 | 240 | -1 | 15 | 姫路中央 | 4 | 100.00 | 6 | 6 | 0 | 0 | | | |
| 神 戸 第 一 7 | 神 戸 | 4 | 92.11 | 153 | 149 | -4 | 0 | 西 播 第 一 6 | 小 計 | | 91.84 | 344 | 347 | 3 | 3 | |
| | 神 戸 東 | 4 | 85.93 | 108 | 107 | -1 | 0 | | 赤 穂 | 4 | 90.63 | 41 | 40 | -1 | 0 | |
| | 神 戸 東 灘 | 4 | 93.35 | 29 | 33 | 4 | 3 | | 相 生 | 4 | 100.00 | 40 | 43 | 3 | 2 | |
| | 神 戸 有 馬 | 4 | 100.00 | 12 | 12 | 0 | 0 | | 龍 野 | 3 | 95.93 | 54 | 53 | -1 | 4 | |
| | 神 戸 南 | 4 | 83.73 | 75 | 76 | 1 | 0 | | 上郡佐用 | 4 | 97.83 | 23 | 23 | 0 | 6 | |
| | 神 戸 六 甲 | 4 | 95.00 | 15 | 15 | 0 | 0 | | 小 計 | | 96.10 | 158 | 159 | 1 | 12 | |
| | 神 戸 ベイ | 4 | 86.71 | 23 | 22 | -1 | 3 | | 豊 岡 | 4 | 94.98 | 33 | 35 | 2 | 1 | |
| 小 計 | | 90.98 | 415 | 414 | -1 | 6 | 生 野 | 4 | 84.28 | 22 | 22 | 0 | 0 | | | |
| 神 戸 第 二 7 | 神 戸 西 | 3 | 90.40 | 61 | 60 | -1 | 5 | 但 馬 5 | 香 住 | 4 | 92.35 | 21 | 19 | -2 | 0 | |
| | 神 戸 須 磨 | 4 | 87.59 | 35 | 37 | 2 | 0 | | 豊岡円山川 | 5 | 97.10 | 21 | 21 | 0 | 0 | |
| | 神 戸 北 | 4 | 80.55 | 27 | 27 | 0 | 1 | | 和 田 山 | 4 | 86.38 | 22 | 23 | 1 | 1 | |
| | 神 戸 垂 水 | 4 | 95.78 | 29 | 32 | 3 | 5 | | 小 計 | | 91.02 | 119 | 120 | 1 | 2 | |
| | 神戸ハーバー | 3 | 100.00 | 7 | 7 | 0 | 0 | | 合 計 | 73RC | | 92.15 | 2,857 | 2,884 | 27 | 96 |
| | 神戸西神 | 4 | 92.50 | 39 | 38 | -1 | 1 | | | | | | | | | |
| | 神 戸 中 | 4 | 88.46 | 40 | 41 | 1 | 4 | | | | | | | | | |
| 小 計 | | 90.75 | 238 | 242 | 4 | 16 | | | | | | | | | | |

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2014年7月1日 クラブ会員数… 2,857人
 ◆2014年9月末 クラブ会員数… 2,884人

◆2014年9月末女性会員数…………… 96人
 ◆2014年9月平均出席率……………92.15%
 ◆増 減…………… 27人増